

北海道中頓別町

課題

町全体で、子どもが10人生まれなくなった。
働く機会が少なく、若い世代がどんどん減っている。

実現を目指していく地域のイメージ

一流のいなか・ゆっくりな村



調査事業の概要

地域力をまるごとビジネス化、地域ブランドデザインで生業づくり・若者の雇用創出。

<地域資源発掘>

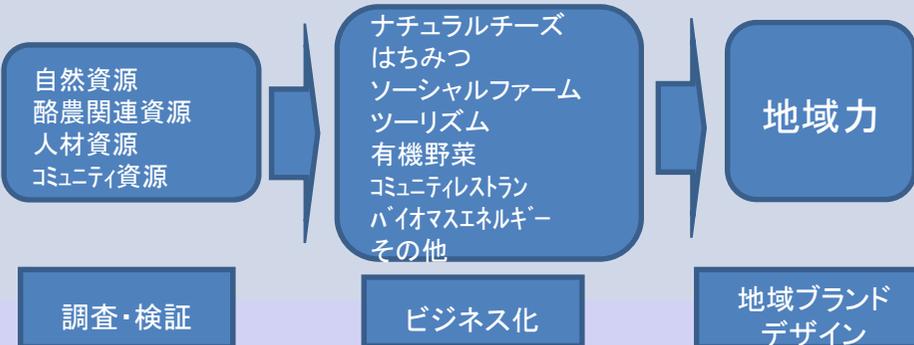
地域の自然資源、酪農関連資源、人材資源、コミュニティ資源を徹底的に調査・検討。

<地域力まるごとビジネス化>

自然環境、食材、体験観光などの地域資源を活用、地域をまるごと活かした農村総合ビジネスを創出。

<地域ブランドデザインによる戦略化>

地域ブランドデザインでビジネスを総合的に戦略化、地域力の再生と向上を目指す。



対応策の提示

<これまでのノウハウ、対応策>

地域再生の可能性を探するため、「地元学」に取り組み、地域にあるものを探求するとともにそれを活かした地域づくりを模索。
しかし、これらの取り組みも町内人口、交流人口とも数が少ないため大きくは発展せず自立できるビジネス化にまで至っていない。

<調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策>

地域まるごとビジネス化、地域ブランドデザイン戦略の確立に向け

- 地域資源調査
 - しゃべり場「緑の分権サロン」の開催
 - 他事例調査
 - 中頓別まるごとカタログの作成
 - 地域の学校と連携した特産品づくり
- 取り組みにより得られた効果
- 地域の魅力を再発見し、地域再生を図る機運を醸成。
 - 地域資源を活かした新たな商品開発(モノ、ツーリズム)への取り組みが始動。
 - 中頓別を地域ブランドとして戦略化する方向性を実現。
 - 地域ブランドを戦略化した商品の販売戦略を構築。
 - 学校から発信し、地域を上げて取り組む体制が実現。

<今回の調査により得られた新たな課題>

- 観光の取り組みや商品をしっかりと伝える情報発信力の強化。
- 既存資源と新資源との統一した方向性。
- 企画検討、製品開発の役割分担を明確にし、地域一体で取組。